

「足利版家庭教育読本」作成研究

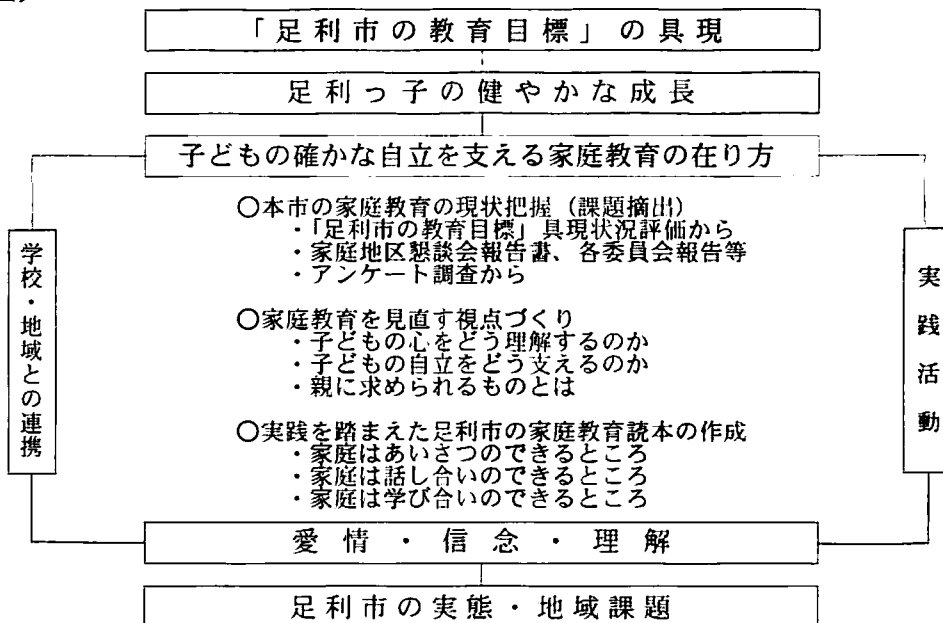
－足利っ子の健やかな成長を支える家庭教育の在り方－

Ⅰ 研究の趣旨と構想

家庭教育は、基本的な生活習慣をはじめ倫理観、自制心、自立心など「生きる力」の基礎を育成するものであり、全ての教育の出発点である。しかし、近年の都市化、核家族化、少子化等の影響で地縁的なつながりは希薄となり、家庭を取り巻く社会環境の変化に伴い家庭の教育力の低下が危惧され、児童虐待や青少年非行、不登校の増加など様々な問題の背景となってきた。

加えて、厳しい経済状況の下、週休2日制の実施が、必ずしも期待された地域や家庭の余暇時間の拡大とそれに伴う教育環境の改善につながっていない現実がある。そこで、子どもの確かな自立と豊かな感性の育成を図るため、家庭教育の在り方をもう一度見つめ直し、自らできることを一つずつ実践しながら、家庭教育を向上させていく必要があると考えた。

<構想図>



「足利市の教育目標」において、家庭は「人格の基本となる望ましい性格を身につける」場「男女が協力して、よりよい家庭を築く生活態度を身につける」場であり、「敬老の精神を身につけ実践する」場でもあると捉え、世代間交流事業や子育て相談、家庭教育地区懇談会など様々な行政施策を実施してきた。

しかしながら、「足利市の教育目標」具現状況評価結果を見ると、地域のクリーン活動への参加や環境美化については、児童期・青年期の子どもの実践状況が極めて低く、加えて壮年期以降の青少年の健全育成や社会連帯への意識や実践状況も、調査を実施する毎に低下している。各地区において、地域ぐるみで様々な取り組みをしているにもかかわらず、一人一人の意識や意欲が高まっていないという実態がうかがえる。そこで「家庭教育読本」を作成して日々の家庭教育の実践への手がかりにしたいと考えた。

II 研究の計画

家庭教育の課題抽出について

- ・文部科学省の中央教育審議会の諸答申を参考に家庭教育に関する一般課題を抽出する。
- ・「足利市の教育目標」第4次具現状況評価報告書と第5次具現状況評価結果をはじめ足利市社会教育委員会具申、足利市家庭教育地区懇談会報告等を参考に家庭教育に関する地域課題を加味する。
- ・研究員がまとめた実態把握、校長会資料、生涯学習課配付資料等も検討し家庭教育に関する課題を整理する。

アンケート調査による実態把握

- ・家庭教育に関して、市内小中学校の児童・生徒と保護者に対して、意識調査（家庭教育に関するアンケート）を実施し、実践状況を把握する。

家庭教育読本の項目の検討

- ・アンケート結果を考察し、課題に基づいて、読本の項立てと内容を検討する。

家庭教育読本の内容の検討

- ・家庭教育に関するアンケート結果と家庭教育地区懇談会に寄せられた声を生かして、内容記述の見直しを図る。
- ・小中学校長会をはじめPTA連合会、教育委員会関係各課、子ども課（保育所）等の意見を参考に再検討する。
- ・上智大学長島教授の指導助言を生かし、修正を加える。

家庭教育読本の刊行・活用

III 家庭教育の課題抽出について

1 課題として捉えたこと（家庭で取り組んでほしいこと）

<家庭のしつけについて>

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ○基本的な生活習慣を身につけること | ○他人に迷惑をかけること |
| ○集団生活の基本的なルールやマナー | ○睡眠時間の確保、早寝早起きの習慣づけ |
| ○あいさつ、言葉遣い | ○話をしっかり聞くこと |
| ○時と場にあった言動がとれる | ○時間を守ること |
| ○家庭で本を読ませる機会、読書習慣 | ○お金の使い方 |
| ○食べ物の好き嫌い | |

<親としての心構えについて>

- ダメなものはダメという、いつでも、どこでも言うべきことは言う
- 自分の子を冷静にみる余裕をもってほしい
- 子どもと関わる時間を多くとってほしい
- 子どもにいろいろな経験をさせてほしい
- 子どもの前で愚痴ばかり言ったり、他人の悪口を言ったりしない
- 子育てについて共通理解をもつ、父親も積極的に子育てに参加する
- 子どもの話をじっくり聞く、積極的にコミュニケーションをもつ
- 子どもと共に汗を流す（遊ぶ、仕事をする、動植物を育てる）
- 子どもと共に食事をする、朝ごはんをきちんととらせる
- 機会を捉えて、我慢を学ばせる
- 大人が（親が）率先してあいさつ、声かけを行なう
- 育成会や地域の行事に進んで参加する

<教育懇談会や諸答申からの今日的課題・緊急課題>

- 携帯電話の使い方について、親も学習し、家庭内でも話し合う
- インターネットの使い方やテレビ視聴のあり方についてルールを決める
- 有害図書をはじめ有害情報に関するモラルを高める
- 薬物乱用と飲酒・喫煙の徹底防止に努める
- 万引きの徹底防止に努める
- 交通ルール、交通マナーを守り交通安全に努める
- いじめ、暴力、仲間はずれ、偏見、差別、無視等をなくす
- 異性との交遊を考える、援助交際を絶対許さない

<「足利市の教育目標」具現状況評価で低くなっていた事柄>

- 家庭での役割分担
- 社会連帯感
- 食生活
- 公德心
- 環境問題

IV アンケート調査による実態把握

アンケートの目的

市内の小中学生並びに保護者に対して、家庭教育に関するアンケートを実施し、実態把握、課題抽出を行い、家庭教育読本作成の基礎資料とする。

特に、親と子に同様の内容のアンケートを実施することにより、子どもの目線から捉えた家庭教育の姿、親の立場から捉えた家庭教育の実態を把握し、相互の意識の違いに着目し、読本の項目を検討する。

調査対象

市内各小中学校抽出校の該当学年1クラス

・小学校2、5年 中学校2年の保護者

(計 549名)

・小学校2、5年 中学校2年の児童生徒

(計 561名)

質問内容(概要)

- 1 どんな子どもに育ってほしいと願っていますか。
- 2 家庭のしつけで大切にしていることは何ですか。
- 3 しつけの中心になっているのは、誰ですか。
- 4 しつけの実践について、お尋ねいたします。
 - (1) あいさつを毎日進んでしていますか。
 - (2) 子どもの話に耳を傾けていますか。
 - (3) おさんは人の話を素直に聞いていますか。
 - (4) 他人の迷惑になりそうな時、その場で注意をしていますか。
 - (5) 何か物をほしがった時、我慢をさせるようにしていますか。
 - (6) 積極的にコミュニケーションをとっていますか。
 - (7) 子どもと一緒に遊んだり、汗を流したりしていますか。
 - (8) 子どもとできるだけ夕食を共にするようにしていますか。
 - (9) 毎日きちんと朝食を食べさせて、学校に送り出していますか。
 - (10) 健康を考えて、食事の献立を工夫していますか。
 - (11) 寝る時間や起きる時間を話し合って決めてしていますか。
 - (12) 家での役割分担を決めてお手伝いをさせていますか。
 - (13) 動植物を育てさせて、命の大切さを考えさせていますか。
 - (14) 先取りして指示したり、先に手を出してしまうことがありますか。
 - (15) 言葉遣いが気になった時、その場で注意をしていますか。
 - (16) 家庭学習の時間について話し合って決めていますか。
 - (17) 家での読書の時間について話し合っていますか。
 - (18) テレビを見る時間や番組について話し合って決めていますか。
 - (19) テレビゲームについて話し合ってルールを決めていますか。
 - (20) インターネットの使い方について話し合ってルールを決めていますか。
 - (21) 携帯電話の使い方について話し合ってルールを決めていますか。
 - (22) できるだけ公園など屋外で遊ぶように勧めていますか。
- 5 しつけや子育ての中で、心がけていることや実践されていることをお書き下さい。
- 6 子育ての中で、どんなことに不安や悩みを感じていますか。
- 7 子育てに不安や悩みを感じた時、誰に相談していますか。

調査対象者(2)用紙(アンケート) 印刷用紙
小学校2、5年生用 足利市立教育研究所

1 いえの中であなたの生活の様子について聞きます。

(1) あなたは、いえる人におはようございますなどのあいさつを毎日していますか。
ア いつもしている
イ たいがいしている
ウ ほとんどしない

(2) いえる人は、あなたが話をした時、あなたの話をよく聞いてくれますか。
ア いつも聞いてくれる
イ とさどき聞いてくれる
ウ ほとんど聞いてくれない

(3) あなたは、いえる人の話をすなおに聞いていますか。
ア いつも聞いてくれる
イ とさどき聞いてくれる
ウ ほとんど聞いてくれない

(4) あなたがよその人へのいびきをかけそうになった時、あなたは、いえる人からちゅういされたことがありますか。
ア いつもちゅういされる
イ とさどきちゅういされる
ウ ほとんどちゅういされない

(5) あなたが何かをほしがったとき、いえる人からがまんするように責められることがありますか。
ア いつも責められる
イ とさどき責められる
ウ ほとんど責められない

(6) いえる人は、あなたによく話かけ、あなたと話をしていますか。
ア いつもしている
イ とさどきしている
ウ ほとんどしない

(7) 休みの日などには、いえる人といっしょにあそんだりしていますか。
ア いつもあそんだりしている
イ とさどきあそんだりしている
ウ ほとんどあそばない

(8) あなたは、いえる人といっしょに夕ごはんをたべていますか。
ア いつもたべている
イ とさどきたべている
ウ ほとんどたべてない

<アンケート用紙>

調査結果と考察

1 保護者が回答した自由記述から特徴的な事柄を以下のよ
うにまとめた。

(1) 「どんな子どもに育ててほしいと願っていますか。」に
ついては、

- ①思いやりがある子が34%で第一位であり、ついで、
- ②素直な子が23%、続いて③やさしい子、④意志をしっ
かりもった子、⑤明るい子となっている。

(2) 「家庭のしつけとして大切にしていること」については、

- ①あいさつが46%で第一位であり、ついで、②人に
迷惑をかけない、続いて③人に親切に、やさしく、④う
そをつかない、⑤自分のことは自分でやるとなっている。

(3) 「家庭のしつけとして具体的に実践していること」については、

- ①コミュニケーションが第一位で、ついで、②あいさつ、③自分のことは、自分でさせる、
④素直に謝らせる、⑤時間を守る、手伝いをさせるが同率などとなっている。

(4) 「子育ての中で、どんなことに不安や悩みを感じていますか。」については、

- ①子どもへの接し方が第一位で、ついで、②子どもの友人関係、③地域の安全④勉強のこと、
⑤テレビゲームなどとなっている。

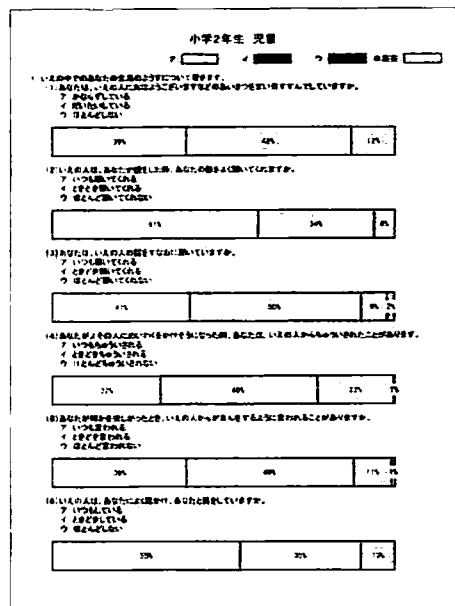
2 児童生徒の回答結果から特徴的な事柄については、以下のようなになる。

(1) 「あいさつはほとんどしない」と答えている子が、小2では12%であるが、小5では15%、
そして中2では33%になる。

(2) 「家の人とほとんど話をしない」と答えた子が、小2では10%であるが、小5では26%、
そして中2では30%になる。学年があがるにつれて、あいさつをしない子や話をしない子が
増えることは、発達段階による所が大きいですが、始めからあいさつの習慣づけがなされないところ
には問題がある。

(3) 「家の人とほとんど遊ばない」と答えた子が、男子の場合は、小2では26%であるが、小5
では31%、そして中2では70%が「しない」と答えている。

このことについても、発達段階による所が大きいですが、小さい時から親子のふれあいが少ない
ことには問題がある。



＜調査結果のグラフ＞

(4) 「夕飯の時間が決まっていない」と答えた子が、小2では21%、小5で27%、そして中2で38%となり、食育の面からも課題である。

(5) 「動植物の世話をしていない」と答えた子が、小2では41%、小5では男子39%、女子31%、そして中2では男子54%、女子39%である。

このことについては、環境的な問題もあろうが、小さい時からの体験不足は大きな課題である。

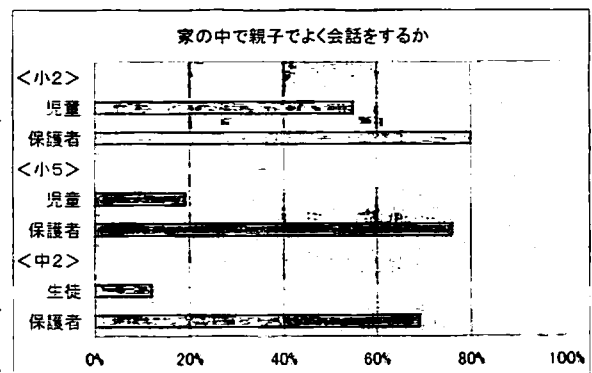
(6) 「話し合って勉強する時間を決めていない」と答えた子は、小2では45%、小5では男子58%、女子43%、そして、中2では男子58%、女子62%である。また、「家で本を読む時間をほとんど話し合わない」と答えた子は、小2では63%、小5では64%、そして中2では84%であり、重要な課題である。小さい時から自主的に学ぶ態度の育成が大切である。

(7) 「テレビ視聴についてほとんど話し合わない」と答えた子が、小2では34%、小5では44%、そして中2では50%である。また、「テレビゲームをする時間についてルールを決めていない」と答えた子が、小2では29%、小5では36%、そして中2では男子が56%、女子が45%である。子どもたちのメディアリテラシーの育成と保護者自身の携帯電話やインターネットの影に対する理解も今後の課題である。

(8) 小学校2年生では、「人に迷惑をかけそうになった時に注意されるか」という質問について、保護者の95%が「いつも注意している」と答えているのに、「いつも注意される」と回答してる子は32%に過ぎず、半面「ほとんど注意されない」と答えている子が23%もいる。

「言葉づかいが気になった時、その場で注意するか」という質問について、保護者の78%が「いつも注意している」と答えているのに、「いつも注意される」と回答してる子は32%に過ぎず、半面「ほとんど注意されない」と答えている子が30%もいる。

これらについては、小学校5年、中学校2年でも同様であり、保護者は注意したつもりであるが、実は子どもには伝わっていない様子がうかがえる。



<親子の意識の違い>

(9) 「子どもより先に手を出してしまう」と回答している保護者は、小学校2年生では88%、小学校5年生では86%もあり、中学校2年でさえ、82%にも及び子どもに手をかけ過ぎてしまう実態が明らかである。

(10) 小学校5年生では、「積極的に親子のコミュニケーションをとっているか」という質問について、保護者の76%が「いつもとっている」と答えているのに、「いつもとっている」と回答してる子は19%に過ぎない。また、「テレビを見る時間や番組についてほとんど話し合わない」と回答している保護者が18%であるのに対し、児童の45%が「ほとんど話し合わない」と答えている。

小学校5年から中学校2年にかけては、児童生徒と保護者との意識のずれが大きくなり、コミュニケーションも困難になってくる。また、男女による意識のずれが生じるばかりでなく、男子と女子に対する保護者の対応も大分異なってくる。

V 家庭教育読本の構成

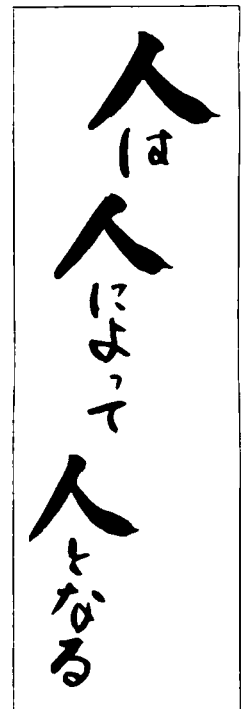
読本の項立て

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 願う子ども像 | 16 余暇の過ごし方 |
| 2 あいさつ | 17 テレビゲームやテレビ視聴 |
| 3 話を素直に聞く心 | 18 携帯電話やインターネットの使い方 |
| 4 迷惑行為への注意 | 19 友だちとの交遊 |
| 5 我慢 | 20 子育ての不安 |
| 6 コミュニケーションの努力 | 21 家庭教育の大切さ |
| 7 一緒に遊んだり、仕事をする | 22 家庭のしつけの中心 |
| 8 話をしっかり受け止める | 23 有害図書の扱い |
| 9 食事の時間や献立に配慮した食事 | 24 異性とのかかわり |
| 10 睡眠時間や就寝時間を考えた健康管理 | 25 薬物乱用防止について |
| 11 家庭での仕事や役割 | 26 飲酒・喫煙の徹底防止 |
| 12 動植物の世話 | 27 万引きの撲滅 |
| 13 子供の自主性 | 28 交通事故防止 |
| 14 言葉遣い | 29 いじめ、暴力、仲間はずれの撲滅 |
| 15 周囲への注意 | 30 偏見、差別をなくす |
| ○ 地域で子育てを | 31 大人からの声かけ |
| ○ 遊びの大切さ | ○ メディアリテラシー |

読本の見出し文一覧

- | <<見出しの内容>> | <関連する項目> |
|--------------------------|------------|
| 1 やさしく かしこく たくましく | 【願う子ども像】 |
| 2 子育ての主役は家庭です | 【家庭教育の大切さ】 |
| 3 あいさつで いつでも さわやか つなぎ合う心 | 【あいさつ】 |

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 4 ほっとする時間が素直な心を育てます | 【話を素直に聞く心】 |
| 5 見過ごして いませんか その行為 | 【迷惑行為への注意】 |
| 6 自分の命を守るため きかせてますか 心のブレーキ | 【交通事故防止】 |
| 7 かけたかな？ 今日も ひと言 | 【大人からの声かけ】 |
| 8 我慢する心は 一生の財産 | 【我慢】 |
| 9 いじめは 絶対許さない 親の姿勢が まず大事 | 【いじめ、暴力、仲間はずれの撲滅】 |
| 10 ふれあいが 家族の絆を 深めます | 【コミュニケーションの努力】 |
| 11 そうだねと 子どもの声を 受けとめましょう | 【話をしっかり受け止める】 |
| 12 親よりも 先に子どもは 知っています | 【メディアリテラシー】 |
| 13 食事をつくる 心と体と 家族の和 | 【食事の時間や献立に配慮した食事】 |
| 14 動物や草花を 育てて学ぶ 命の重み | 【動植物の世話】 |
| 15 万引きは ゲームでなくて 犯罪です | 【万引きの撲滅】 |
| 16 家族で語ろう わが子のしつけ | 【家庭のしつけの中心】 |
| 17 嫌な言葉 つかっていませんか | 【言葉遣い】 |
| 18 一人一役 もたせてますか 家庭の役割 | 【家庭での仕事や役割】 |
| 19 主役は子ども 親は子どもの 応援団 | 【子供の自主性】 |
| 20 心の居場所 ありますか 自分自身を大切に | 【友だちとの交遊・異性とのかかわり】 |
| 21 見過ごさない 地域ぐるみで 言葉かけ | 【周囲への注意】 |



<家庭教育読本の表紙>

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 22 余暇の過ごし方 見直しませんか | 【余暇の過ごし方】 |
| 23 いいのかな? 酒・タバコぐらい | 【飲酒・喫煙の徹底防止】 |
| 24 テレビやゲーム 家庭のルールを決めましょう | 【携帯電話やインターネットの使い方】 |
| 25 遊びが 子どもを 育てます | 【遊びの大切さ】 |
| 26 親子で 見られますか その映像 | 【有害図書やテレビ視聴】 |
| 27 健康は 睡眠時間の 確保から | 【睡眠時間や就寝時間を考えた健康管理】 |
| 28 親の言葉が 差別を招く | 【偏見、差別をなくす】 |
| 29 どの子もいい子 大切な子 地域で子どもを育てよう | 【地域で子育てを】 |
| 30 うちの子に限って・・・身近な所に 薬物が | 【薬物乱用防止について】 |
| 31 子育てに 悩みは 尽きません | 【子育ての不安】 |

<<読本の構成について>>

- 日めくりカレンダー形式31枚にまとめる。
- 家庭教育・子育てに関する市内の相談機関一覧を裏表紙につける
- 見出しにつける解説は、できるだけ簡潔にする。
- 家庭教育に関するアンケート調査の結果のグラフも活用する。
- 家庭教育地区懇談会の声を生かして、実践情報を盛り込んでいく。
- 家庭教育に関する足利の地域課題を見つめ直し、足利の実践で課題解決の方向性を出せるよう留意する。

25

育そだてますす
子こどもを
遊あそびが



「遊ぶ」とは、子どもが自ら主体的に活動し、自ら考え、自ら行動し、自ら学び、自ら成長することです。遊びは、子どもの心身の発達に不可欠な活動であり、子どもの生活の中心となります。遊びを通して、子どもは自己肯定感を高め、社会性を養い、創造性を発揮し、問題解決能力を身につけます。遊びは、子どもの人生にとって最も大切な活動の一つです。

<家庭教育読本>

<<読本の配付と活用について>>

○小学校1年・4年と中学校1年の全家庭に配付（約5000部）
3カ年計画で、全小中学生の家庭に配付（予定）

○平成17年3月初版刊行（予定）
各学校では4月に該当学年に配布
配布については、PTA総会や学年部会で配布

○4年目の平成20年度から小学校1年の入学時にのみ配付

○各家庭では、日めくりカレンダーとして壁にかけていただき、時折目に留めていただくと有難いと考えている。

○各学校では、家庭教育読本や本レポートの一部（後日、詳細なデータは教育研究所のWebページで公開予定）をPTAの会合や学年部会、学校・学年通信などの基礎資料として活用していただきたい。

研究員等について

<平成15・16年度研究員>

| | |
|-----------------|-----------------|
| 新藤 伴子（矢場川小学校教頭） | 松本 静枝（けやき小学校教頭） |
| 恩田 和男（桜小学校教頭） | 石井 萬壽夫（南小学校教務） |
| 山田 耕蔵（名草小学校教務） | 山口 正弘（第二中学校教務） |
| 荒居 包夫（坂西中学校教務） | |

<指導助言>

長島 正先生（上智大学文学部教授）

<題 字>

吉田 哲也先生（前足利市教育委員会教育長）

<イラスト>

足利市立坂西中学校美術部

<事務局>

| | |
|--------------|--------------|
| 中島 祥文（生涯学習課） | 村田 正幸（教育研究所） |
|--------------|--------------|